



ハリス世界株ファンド(資産成長型)の 基準価額の下落について

2月下旬以降、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による景気や企業業績への懸念から、世界の株式市場は不安定な展開が続いています。各国政府や中央銀行が大規模な政策を打ち出しているものの、市場の懸念は根強く、3月18日の海外株式市場は大幅安となりました。このような中、3月19日のハリス世界株ファンド(資産成長型)の基準価額は、前営業日(3月18日)と比べ368円下落(▲5.49%)の6,339円となりました。また、当ファンドで多く保有している自動車や金融を含む景気敏感セクターの銘柄が大きく下落したことも、基準価額の押し下げ要因となりました。

表① 主要各国株価指数

	3月17日	3月18日	騰落率
米国(NYダウ)	21,237.38	19,898.92	▲6.30%
スイス(SMI)	8,493.04	8,338.74	▲1.82%
ドイツ(DAX)	8,939.10	8,441.71	▲5.56%
英国(FT100)	5,294.90	5,080.58	▲4.05%

※基準価額への反映を考慮して前営業日の値を表示しています。

表② 主要通貨の対円為替レート

	3月18日	3月19日	騰落率
米ドル	107.39	108.98	1.48%
スイスフラン	111.72	112.18	0.41%
ユーロ	118.01	118.89	0.75%
英ポンド	130.07	126.23	▲2.95%

※対顧客電信売買相場仲値(TTM)を表示しています。

当ファンドは実質的な運用をマザーファンドで行っています。マザーファンドの外貨建資産の運用指図に関する権限につきましては、米ハリス・アソシエイツ・エル・ピー(以下「ハリス・アソシエイツ社」といいます。)に運用を委託しています。

新型コロナウイルスを巡る不確実性が高まる状況において、株式市場のみならず、通常は安全資産と見なされる米国やドイツの10年国債の価格も下落するなど、世界の金融市場全体において換金売りの圧力が高まっています。

現時点において、新型コロナウイルスが今後どれくらい経済活動に影響を及ぼすかを判断するのは困難ですが、ハリス・アソシエイツ社は企業価値を測定するうえで高い専門知識を持っています。過去においても、株価と、長期的視点から測定した企業価値が極端に乖離する局面を経験してきました。今後向こう半年から1年の間で、グローバル経済が停滞するなどの理由で、当ファンドの組入銘柄の企業価値を引下げる可能性があります。その場合でも引下げ幅は数パーセントに留まるだろうと見ています。旅行、運輸、エネルギー関連の銘柄の企業価値の引下げ幅はそれよりもやや大きくなると思われそうですが、株価はすでに大幅に下落しています。株価が下落し

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、当社といいます)が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。 2003227

たことにより、現在当ファンドで保有する企業の株価は、ハリス・アソシエイツ社が考える企業価値に対して大きく割安度が高まっており、当ファンド全体の割安度は 2009 年の金融危機に匹敵する魅力的な水準になっています。

当面は値動きの荒い展開が予想されますが、ハリス・アソシエイツ社では、リスクを注視しつつ、これまで同様、一貫したバリューのアプローチによる運用を継続して行う所存です。

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント（以下、当社といいます）が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。）ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。 2003227

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元金が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくご覧ください。

■投資信託に係る手数料等について

[ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

■申込時に直接ご負担いただく費用 …… 申込手数料 上限 5.5%(税抜 5.0%)

■換金時に直接ご負担いただく費用 …… 信託財産留保額 上限 0.3%

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

…… 信託報酬 上限 2.035%(税抜 1.85%)

■その他の費用 …… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率等につきましては、朝日ライフ アセットマネジメントが運用するすべての投資信託が徴収するそれぞれの費用のうち、最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者関東財務局長(金商)第 301 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント（以下、当社といいます）が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。）ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。 2003227